

池田正雄

いけだ・まさお

野上八幡神社宮司、阿部正弘公顕彰会

経歴

生: 明治37年(1904年)、福山市生まれ

没: (不明)

大正11年(1922年)	18歳	広島県立福山中学校(誠之館)卒業
昭和3年(1928年)	24歳	慶応義塾大学経済学部卒業
昭和3年(1928年)	24歳	福山市野上八幡神社宮司及び阿部神社に奉職
昭和31年(1956年)	52歳	備後護国神社宮司
—	—	阿部正弘公の顕彰会
—	—	広島県神社庁福山支部長

生い立ちと学業、業績

池田正雄氏は備後神職界の長者として名を馳せている。
明治37年福山市の出生、誠之館を経て慶応義塾大学経済学部を昭和3年(1928年)卒業。

直ちに福山市野上八幡神社宮司及び阿部神社に奉職。
爾来ずっと今日まで変わらずその神霊に奉仕している。
また曾て福山招魂社を時の要請に応じて拡大しようと試み、福山護国神社の造営に挺身したが、戦禍に遭って業半ばに止んだ。

しかし戦後、さらにこの計画は拡大され、備後護国神社の造営となり池田宮司らの熱誠な東奔西走は実を結び、遂に昭和31年(1956年)本殿、便殿などの工を終り、その宮司となった。

備後護国神社はまたさらにその後境内や諸設備の充実を行い、名実ともに護国の英霊を鎮めるにふさわしい内容外廓を完成したこと、一に池田氏の誠実と情熱の賜と云ってよい。

この外福山藩主で、幕末の俊英であった阿部正弘公の顕彰会を創るなど、祖先敬崇の風潮を振興するの功績は大きい。

広島県神社庁福山支部長としての仕事にも忙殺されている。

趣味は読書、謡曲。福山市北吉津町。 (出典1)

出典1:『政治産業文化備後総合名鑑』、備後文化出版社刊、昭和34年9月

2005年5月24日更新:本文・出典●2006年6月13日更新:タイトル●2008年2月13日更新:経歴●